

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

今回は、平成24年12月27日に行われた平成24年度判定委員会において、「環境自治体スタンダード(LAS-E)第1ステージ・第3ステップ」の合格判定をいただきましたので報告します。

士幌町長 小林康雄 殿

2012年12月27日

L A S - E 判定委員会

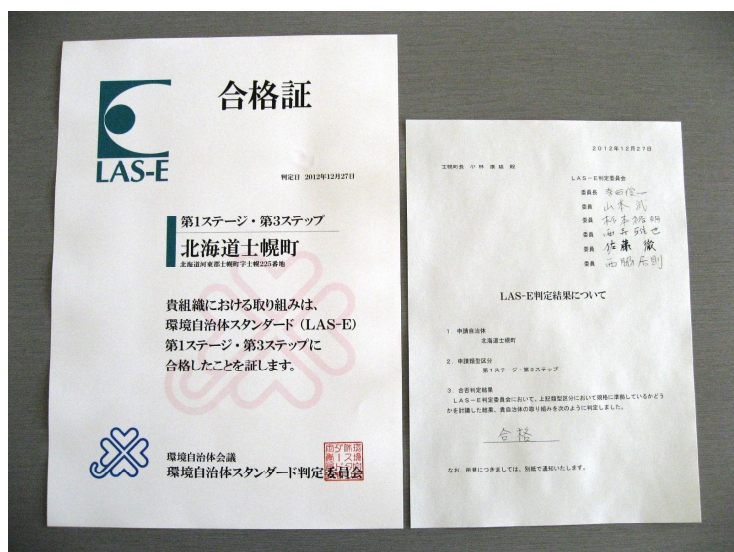
L A S - E 判定結果について

1. 申請自治体 北海道士幌町
2. 申請類型区分 第1ステージ・第3ステップ
3. 合否判定結果 L A S - E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合 格

以下所見
〈全般的な事項〉士幌町の環境に関する取り組みがL A S - E第1ステージ・第3ステップの規格に準拠しているか、また監査チームが適正に監査を行っているかについて討議した結果、合格と判定しました。
行政のみならず、学校や公共施設を中心に住民を巻き込みながら、町一丸となって環境活動を深めている様子が窺えます。
〈エネルギー使用量削減目標について〉独自目標の設定に際して、委員の意見を反映して事務局案を変更した数値を目標に据えるなど、住民参加の目標審議組織がきちんと機能していることは評価できます。
一方で、節電の工夫など日常の環境配慮が定着し、エネルギー使用量を総量として削減することが現実的に難しくなっています。また、施設・設備が更新されていくなかで、こうした状況の変化を踏まえた目標を設定する必要があります。
総量削減の目標だけではなく、業務量や施設利用者数あたりの環境負荷を減らす目標を立てる、再生可能エネルギーによる代替量を含むなど、一歩踏み込んだ目標の立て方ができると良いでしょう。
〈今後について〉環境自治体会議が主導する「おひさまエネルギー助け合いファン」に参加し、北海道にありながらポテンシャルが高い太陽光発電の普及を進めようとしていることは、地域の強みを活かしたエネルギー戦略のモデルを示すものとして大いに期待できます。再生可能エネルギー導入計画などを作り、積極的にかつ大胆に展開していただけると良いと思います。

判定結果・所見より抜粋



← 合格証・
L A S - E 判定結果通知

第2ステージでは地域全体を対象とするものとなり、施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。
町全体での協働の取り組みにより環境への配慮をする環境自治体を目指しています。

